

## 第1回設置検討会議後に各団体が実施した意見交換における意見等

- 1 水内町内会連合会
- 2 湯来東小学校 PTA
- 3 湯来保育園保護者会

## 第 1 回設置検討会議後に実施した意見交換における意見等（水内町内会連合会）

### 【団体構成員からの質問】

世帯数の少ない現状で湯来東小・湯来西小の2校から PTA の役員を決めるのも年々保護者の負担が増えていることに加え、湯来保育園で友達になった子どもが少ない人数なのに2校に振り分けられることを考えた場合、5校統合の前段階で人数の少ない湯来東小と湯来西小の早期合併は可能なのか、可能ではないのか、教えてほしい。

湯来東小学校 PTA 代表

小松 瞳

## 湯来地域における小中一貫教育校設置検討会議 どのような学校が良いか湯来東小学校保護者の意見

15 世帯中、10 世帯提出分の意見がでたので、報告します。

### ア、イのどちらが湯来町唯一の学校として良いと思うか

#### ア) これまでと違った学校 →2 票

(例：学力がすごい。グローバルリーダーを育てる。特色のある教育法を取り入れた学校

広島県立広島中学校 (入試あり)

広島県立広島英知学園中・高等学校 (大崎上島町) (入試あり)

福山市立常石(ツイン)とともに学園(小学校) イエナプラン採用)

<b>学力・教育関係</b>
地元枠を残しつつ、レベルの高い入学者を広く受け入れて、互いに刺激ある学校生活にする
<b>地域との関わり</b>
地域の困っている人の解決方法を考え、手助けをするなど
<b>学校にあって欲しい機能</b>
農業・酪農など湯来町ならではの授業を取り入れ、将来的な担い手を育てる。AI など駆使できるような先進事例になる。
<b>その他</b>
多様性を確保するためにも特別支援学級、それに応じた支援は残すべきだと思います。

#### イ) これまで通りの学校 →8 票

(例：現在子供達が湯来東小学校で受けている教育、一般的な地域の公立校

湯来東小学校、湯来西小学校、湯来南小学校、戸山小中一貫校)

<b>これまでの学校についての補足</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数の良さを生かし、強みにした学校経営、地域との連携ができる学校。</li> <li>・地域と密着した学校行事や取り組みが継続されることを望む。湯来在住の職人、資格、特技を持つ人に協力してもらい、子供の興味に合わせた課外クラブ(体験)ができれば楽しいと思う。</li> <li>・東小伝統の田楽フェスティバルは絶対に引き継いでいってほしい。</li> <li>・子供たちの意見を一番に考え、興味あることを可能な限り叶えてあげられるようにしたい。</li> </ul>
<b>学力・教育関係</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な学力はもちろん身に付けて欲しいが、湯来町の学校では課外授業で自然とふれあい体験できる機会をたくさん設けてほしい。</li> <li>・少人数で先生方が一人一人しっかり勉強を教えてください、先生・生徒の密な勉強ができていると思います。</li> <li>・現在の東小に満足しています。(現在の国が奨めている教育内容は詰め過ぎだと思っています。</li> </ul>

↓つづ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の居る環境を子供時代からしっかり体験し、知ることができていれば、成長の過程で自分を知っていく時に大きな効果があると思っています。一般的な市街地とは違う、湯来町だからこそ豊かな教育・生徒が自主的に取り組むことのできる学習がこれまで通っていてほしい。（特に湯来中学校の水内川調査は素晴らしいと思う。元気な店への貢献も素敵でした。）</li> </ul>
<p><b>地域との関わり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行事・課外活動で地域の方々にも参加してもらい、学校行事＝湯来の行事として盛り上げたい。</li> <li>・文化祭がふるさと祭りで行うなど、地域との関わりもしっかりできていると思います。</li> <li>・湯来町らしさあふれる取組みがすでに学校生活に取り入れられている。一貫校になっても、それぞれの地域の方に変わらぬご協力をお願いして、関わってほしい。</li> </ul>
<p><b>学校にあって欲しい機能</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域交流・発信の場として移動スーパーが来たり、子育て相談サロン・教育相談・I/U ターン相談ができるスペース。</li> <li>・地域の方がより学校に関われる施設や移住相談ができる窓口を併設しても面白いと思います。</li> <li>・田んぼ（田植え、稲刈り、餅つきを全学年が毎年参加できる）</li> <li>・給食調理室と畑（育て、収穫した野菜を給食として取り入れることができる）</li> </ul>
<p><b>その他</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方が授業や生徒との関わりにしっかり無理なく時間が取れるよう、地域との関わりを担当する専任担当者の雇用。</li> </ul>

**◎その他、検討会議への質問、意見**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・質の高い教育や特色ある学校にしたいという保護者の意見も良くわかります。しかし、実際に教育を受け学校に行くのは子供たちであり、保護者ではありません。子供たちにも意見・やってみたい事を聞いてみる必要があると思います。これから子供たちに意見を聞くのか分かりませんが、保護者勝手な検討会議になっている印象です。</li> <li>・近年町内の小・中学校を経験した卒業生に、良かった点、もっとこうだったら良かったという点を挙げてもらうと、大人だけでは解らない新鮮で実のある意見が出ると思う。現在町内で教職に就かれている先生方の意見も聞いてみたい。（先生方は様々な学校を経験されているので、町内の学校の特色などについても他と比較しての広い見解が得られると思う）</li> <li>・小中一貫教育校が始まる前に、人数の少ない東・西小の合併が望ましいと思います。子供、保護者共にメリットがあると思います。</li> <li>・西・東小の統合など、2～3年以内の今の子供たちにできる事も併せて検討していただきたい。</li> <li>・現段階で「どのような学校・教育が良いか」を具体的にイメージすることはとても難しい。「立地がどこならこの規模の教育」ということを、候補となり得る場所からリスト化してもらうとイメージがしやすくなる。実現可能な数パターンから良いものを選び、理想に近づけていく方法が具体的で良いのではないかと。</li> </ul>
---

2022年12月23日

湯来保育園保護者会 会長

吉見 真也

## 第2回湯来地域における小中一貫教育校小中一貫校設置検討会議に向けて

湯来保育園保護者会 意見・要望とりまとめ

テーマ...「どのような学校にしたいか（小中一貫校での取り組み内容等）」

## 【意見・要望】

- ・新しく学校を建てるのであれば、地域の方がより学校に関われる施設や移住相談窓口を併設しても良いのではないかと。
- ・小中一貫校になる前段階での湯来東小・湯来西小2校の合併は可能でしょうか。現在、湯来東小・湯来西小ともに生徒数・保護者数が減っている。保育園で一緒に過ごした子どもたちが、少ない生徒数にも関わらず、離れ離れになってしまうことや、世帯数が少ない中で東小・西小ともにPTA会長等役員の選出が難しくなっていることなど課題を抱えている。2校合併は子どもたち、保護者ともにメリットがあると思う。
- ・農業、林業の教育に力を入れるなど、湯来ならではの特色を活かした学校づくりを通じて、他地域から移住者を呼び込むことができるようになると思う。
- ・湯来東小・湯来西小も湯来中も地域資源をフル活用した魅力的な教育を受ける機会にとっても恵まれているように感じている。小学校3学区分で現在行われている地域と学校の取組がしっかり残る学校であることが、「湯来町でこその特徴ある学校」になり、山のふもとや市街地ではできない経験を積むことができる学校になってほしいと思う。
- ・新たな教育機関として中高一貫校を設置するのであれば、その周辺に医療・福祉施設や買い物施設、金融機関など町として重要な機能を持った施設・町の課題を解決できる施設を集中させ、魅力ある街づくりの拠点となれば理想的だと思う。その上で周辺施設と連携しながら、地域住民との交流や職場体験、地元の自然とのふれあいや食文化等を通じて学びの場があるような、中山間地ならではの感性が養える、また地元地域に愛着の持てる魅力的なプログラムの多くある学校になってほしい。他の小中一貫校の事例や視察からも、「魅力的なプログラム」がどのようなものなのか学び、湯来町内各小中学校の既存の取組を活かしつつ、子どもたちがワクワクするような取組ができれば良い。最終的にはこうした魅力が様々なチャンネルを通して発信され、移住者増加に繋がっていけばなお良いと思う。

- ・ 10年後、20年後の湯来地域に子どもたちがどれだけいるのかと考えると、新しい学校に向けての議論はもちろんだが、湯来地域に住んでここで子育てをしたい、この学校でのびのびと学んでほしいと思えるような魅力や、子育てしやすい環境を整えることも重要なのでは。  
その為にも、交通面では大きなバスはもちろん、1日数便ではなくもっと  
利便性を考え、乗り合いタクシーのように、全ての世代が気軽に利用できるものなどがあればいいと思う。湯来地域に住んでいる人は車を持っているから30～40分かけて、買い物や病院へ行くという固定観念は間違っている。特に子育て中はなかなか身動きも取りづらいし、車に子どもを乗せるのも苦労する。  
せっかく温泉もあり、自然豊かでいろんな特産物がある湯来なので、新しい学校の設置とともに、道の駅のような市場が設置されるなど、もっと多くの方に湯来の魅力を発信できるような場所があればいいと思う。こうした市場で日用品や食料品はもちろん地域の方が作る農作物の販売、新しい学校の授業の一環で作った  
野菜や加工品の販売ができるカリキュラムなどができたら一石二鳥。  
病院も週2～3回、五日市など近隣の病院の先生が来て、診てくれるようなシステム、小児科や産科、内科など重要な科をコンパクトに集めた複合的な病院、町の小さな病院が湯来の中心にあるべきだと思う。  
新しい学校がどうあるべきかは、今後いろんな学校を視察する中で、湯来地域に合ったものが出来ればいいと思う。せっかく新しくできるのであれば、広島や日本を代表するような魅力ある学校になれば良いと思う。